

NEWSLETTER

No. 79

10 January 2022

・2021年地理学教室の行事記録	・・・1
・2021年度地理実習の記録	・・・2
・卒業論文公開口頭試験について	・・・9
・2021年度卒業論文公開口頭試験日程	・・・10
・地理学教室が発信する各種情報のQRコード	・・・12

【2021年 地理学教室の行事記録】

- 2月 6日～ 9日 卒業論文公開口頭試験（10号館 10212 教室）
- 5月 26日～27日 地理学野外実習 A（1年生実習：日帰り 2日：専任教員全員）川崎市麻生区黒川地区
- 6月 5日 地理学野外実習 D（加藤コース：東京都品川区）
- 6月 19日 国士舘大学地理学会 総会・講演会（MCH 1階 大教室）
＜総 会＞
＜講演会＞ 桐越仁美 先生（本学専任講師）
「西アフリカにおける砂漠化の進行とコーラの交易ネットワーク」
- 7月 18日 卒業論文公開口頭試験（10号館 10215 教室）
- 8月 30日～9月 3日 測量実習 3（集中：海津 優 先生）
- 9月 17日 地理学野外実習 D（佐々木コース：江ノ島）
- 9月 29日～30日 地理学野外実習 B（2年生実習：日帰り 2日：専任教員）
長谷川：神奈川県三浦市・横須賀市 内 田：埼玉県長瀨町，神奈川県大磯町・平塚市
加 藤：東京都武蔵野市 磯 谷：神奈川県川崎市，東京都 23 区内
桐 越：埼玉県川口市とその周辺 佐々木：群馬県みなかみ町，東京都世田谷区
- 10月 2日 地理学野外実習 D（長谷川コース：多摩川両岸周辺）
- 10月 9日 地理学野外実習 D（桐越コース：高田馬場・新大久保駅周辺）
- 10月 19日～22日 地理学野外実習 C（3年生実習：3泊4日：専任教員）
長谷川：千葉県南房総市とその周辺 内 田：宮城県仙台市とその周辺
磯 谷：高知県安芸市とその周辺 加 藤：東京都昭島市とその周辺
佐々木：宮城県仙台市とその周辺 桐 越：大阪府柏原市とその周辺
- 11月 6日 地理学野外実習 D（磯谷コース：神奈川県川崎市生田緑地とその周辺）
- 12月 25日 国士舘大学地理学会 研究発表会・講演会（MCH 1階 大教室）
＜研究発表会＞ 速水隆仁／黒澤匠皓／金光泰誠／奴田原怜史／土屋佳代／
野島僚真／塩山 拓
＜講演会＞ 海津 優 先生（本学非常勤講師）
「測量の地域性—測量屋旅をする—」

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、国士舘大学地理学会の懇親会・巡検、地理ワークショップは今年も実施できませんでした。

【2021 年度地理実習の記録】

地理学野外実習A：5月26日（水）・27日（木）に日帰りにて実施

◎長谷川・内田・岡島・磯谷・加藤・佐々木・桐越

実施地：川崎市麻生区黒川地区・多摩キャンパス

参加学生数：53名（男子48名，女子5名）

テーマ：丘陵地の自然環境と人間生活

目的：多摩地区における丘陵地の土地利用に関する調査を行い，地形と土地利用の関係，都市化や宅地化の進行の特徴やその要因等について考察することを通じて，地理調査や地理的思考法の基本を体得する。

課題：図表を含めて400字詰め原稿10枚以上相当のレポート。

提出日時・・・6月29日（火）「地理学入門ゼミ」講義時間中に提出。



写真1 初日：小田急線黒川駅前に集合



写真2 班ごとに調査を開始します



写真3 午後には多摩校舎にて質疑応答の授業



写真4 二日目は雨でしたが調査を開始



写真5 見通しの良い場所にて長谷川先生と



写真6 最後は再び多摩校舎でまとめを行いました

地理学野外実習B（2年生対象）：9月29日（水）・30日（木）に日帰りにて実施

◎長谷川

実施地：神奈川県三浦市 三浦半島南部と城ヶ島

参加学生数：13名（男子11名，女子2名）

テーマ：海岸段丘，砂浜海岸や岩石海岸の
特徴的な地形を学ぶ。

内容：①：海岸段丘や段丘を刻む谷地形の観察
②：砂浜海岸に見られるカスプの観察と計測
③：岩石海岸と離水ベンチの観察。
④：海食洞の成因
⑤：タフォニの観察と計測
⑥：クリノメータ，ハンドレベル使い方と簡易計測
⑦：地層の観察方法
以上の内容を通じて，地形・地質の基礎的な観察方法を学んだ。

課題：調査結果をもとに，A4版20～30枚程度のレポートを作成する。



長谷川班：海食洞の観察をしています。

◎内田

実施地：埼玉県長瀬町，神奈川県大磯町

参加学生数：7名（男子7名）

テーマ：風景の鑑賞法と観光地の場所イメージの解説

内容：①東京からの日帰り観光地を風景論の視点から記述し，その結果を比較する。
②地元の自治体や観光業者が，その場所のイメージをどのように利用しているかを，記号論的な観点から考察する。

課題：レポート1：首都圏の日帰り観光地としての「長瀬」と「大磯」の風景の特徴とその地域性について，
レポート2：観光地の記号としての「観光イメージ」



内田班：大磯：明治記念大磯庭園，陸奥宗光別邸跡で

◎磯谷

実施地：1日目 神奈川県立東高根森林公園・川崎市生田緑地

2日目 国立科学博物館附属自然教育園・明治神宮御苑

参加学生数：12名（男子9名，女子3名）

テーマ：東京付近の自然林と二次林の植生地理

内容：東京付近でみられる異なるタイプの森林植生を対象として，履歴や環境条件に応じて成立する森林の分布と生態について，植生地理学的な視点から調査した。調査結果について，参加者各自の着眼点も重視しつつとりまとめる。

課題：指示された項目にしたがって，対象とした森林植生の特徴とその広域的な位置づけについて，図表を含めてA4版20枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷班：白金の自然教育園における森林観察の様子

◎加藤

- 実施地：東京都武蔵野市
参加学生数：18名（男子17名，女子1名）
テーマ：東京都武蔵野市におけるコンビニエンスストアの立地展開
内容：対象地域におけるコンビニエンスストアの立地について，過去のデータのデータと比較しながら，その変遷を把握し，立地の要因を考察する。仮説をいくつか立て，それを立証するための調査を行うようにする。これを通じて，経済地理学的な調査の方法・経済地理学的見方・考え方の基礎を学ぶ。
課題：調査結果に関する図表を作成し，調査結果にもとづいた内容についてレポートする。



◎佐々木

- 実施地：1日目 群馬県みなかみ町土合（湯檜曾川・一ノ倉沢）
2日目 東京都世田谷区 羽根木公園
参加学生数：16名（男子14名，女子2名）
テーマ：多雪山地における地形と植生の観察
羽根木公園周辺における気温の観測
内容：みなかみ町土合地区の湯檜曾川上流部において多雪地域の山地に典型的にみられる雪崩地形と植生景観を観察した。また，湯檜曾川支流の一ノ倉沢では氷成堆積物や土石流堆積物を観察した。2日目の羽根木公園においては，公園内と周囲の住宅地において気温の定点観測と移動観測を実施し，公園緑地における気温の低下効果を明らかにした。
課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4版20枚程度のレポートにまとめる。



◎桐越

- 実施地：埼玉県川口市
参加学生数：18名（男子12名，女子6名）
テーマ：埼玉県川口市における外国人の増加要因
内容：埼玉県川口市において，外国人居住者が近年増加している要因を考察する。事前に在日外国人に関する資料から増加要因の仮説をたて，現地調査を通じて仮説の検証をおこなう。初日は，川口市芝園町を中心に，集住地域の住環境に関する調査を実施する。2日目は西川口駅と川口駅周辺において，外国人との共生に向けた市の取り組みや街並みの特徴などを調査する。
課題：仮説と照らし合わせるかたちで，調査結果にもとづいた内容をレポートにまとめる。



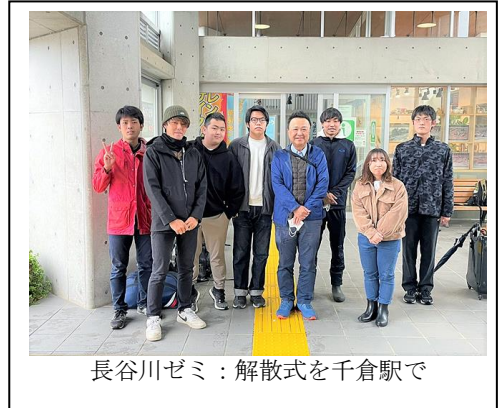
地理学野外実習C（3年生対象）：10月19日（火）～22日（金）実施

◎長谷川

- 実施地：千葉県南房総市とその周辺
参加学生数：7名（男子6名，女子1名）
テーマ：南房総の多様な自然環境を探る
内容：各自の興味に応じて以下のグループに分かれて調査を実施した。
- ①：地殻変動と海成段丘の成り立ちを探る
 - ②：岩石海岸の微地形をドローンで空撮し作成した。精細地形図と岩種で考察
 - ③：丘陵地－農耕地－市街地を流れる二河川で水質を比較
 - ④：砂浜海岸に漂着したマイクロプラスチックの種類と分布

以上の内容を通じて、自然環境の基礎的な観察方法を学んだ。

課題：調査結果をもとに、A4版 20～30枚程度のレポートを作成する。



長谷川ゼミ：解散式を千倉駅で

◎内田

- 実施地：宮城県仙台市とその周辺
参加学生数：6名（男子4名，女子2名）
テーマ：学生各自でテーマを設定し、現地調査を行う。
内容：「『ハイキュー』の聖地巡礼地化による地域の変化」「廃校跡地の利用方法とその後の活用について」「重要伝統的建造物群保存地区の保全と活用－柴田郡村田町を事例に－」「仙台市における卦体神信仰と寺社のイメージ」「仙台市地下鉄における駅勢圏」「東日本大震災後の居住地移動の実態－石巻市を事例に－」
- 課題：各自設定したテーマにしたがって、現地で得たデータをもとに分析・考察を行う。



内田ゼミ：宿泊した秋保温泉『華乃湯』のロビーで

◎磯谷

- 実施地：高知県安芸市とその周辺
参加学生数：8名（男子8名）
テーマ：高知県東部の生態地理
内容：高知県安芸市付近でみられる生態地理について、各自・各班が事前にテーマを設定して調査した。具体的に選ばれたテーマは、「海岸植生の組成と分布」「河辺植生の組成と分布」「大型哺乳動物の生息状況と獣害およびその対策」および「海岸性大型鳥類の分布と生態」であった。
- 課題：図表を含めてA4版 30枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷ゼミ：お世話になった山登家旅館の前で

◎加藤・岡島

実施地：東京都昭島市とその周辺

参加学生数：23名（男子19名，女子4名）

テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う。

内容例：昭島市における人口変動の要因，西武多摩川線の成り立ちと沿線地域の変遷，福生市における古着屋の立地展開，昭島市における老人福祉施設の立地と防災対策

課題：各自のテーマについて、『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。



加藤ゼミ+岡島ゼミ：集合写真
(調査に出発し写っていない人もいます)

◎佐々木

実施地：宮城県仙台市とその周辺

参加学生数：15名（男子10名，女子5名）

テーマ：仙台市街地の緑地におけるクールアイランドの観測，海陸風の観測，二口峠における冷気流の観測，東北地方太平洋沖地震による液状化災害の追跡調査，河川洪水災害に関する調査，菖蒲沼地すべりの運動機構の調査，青葉山地すべりの対策工の調査

内容：気候調査班は仙台市街地の2つの公園で気温の定点観測と移動観測を実施し，都市内緑地の気温冷却効果を確認した。また，海岸から内陸にかけての3地点で風向風速を観測し，海陸風の交替のタイミングを捉えた。山形県境の二口峠では，稜線と谷底間で生じる山谷風の吹走を観測した。河川洪水災害の調査班は，広瀬川と名取川，七北田川の河川沿いの氾濫原の土地利用や浸水危険箇所を調査した。地震地盤災害の調査班は，東北地方太平洋沖地震の液状化跡を追跡し，地盤条件との関係を明らかにした。地すべり調査班は菖蒲沼地すべりと青葉山地すべりを踏査し，同地すべりの運動様式を考察した。

課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4版30枚程度のレポートにまとめる。



佐々木ゼミ：菖蒲沼地すべりの主滑落崖と移動体の露頭を調査中

◎桐越

実施地：大阪府柏原市周辺とその周辺

参加学生数：16名（男子12名，女子4名）

テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う

内容例：柏原市における大和川の流路変更とその影響，柏原市のブドウ生産および歴史と自然を活かした地域振興の実態，大阪市中央区「アメリカ村」におけるアフリカ系移民のコミュニティの形成実態，八尾市におけるベトナム人の集住要因，セレッソ大阪のスタジアム新設による周辺地域への影響，大阪府と京都府における菅原道真と観光の関係

課題：各自のテーマについて、『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。



桐越ゼミ：宿泊先のゲストハウスにて，焚火を囲んだ調査報告会

地理学野外実習D（2～3年生対象の選択科目）：日程はコースにより異なる

◎長谷川

- 実施日：10月2日（土）
実施地：川崎市高津区、東京都世田谷区の多摩川周辺地域
参加学生数：15名（男子11名、女子4名）
テーマ：2019年台風19号の被災地を巡る
内容：多摩川周辺で起こった内水氾濫による被災地を巡り、土地条件、地形や土地利用、河川改修を見学した。
課題：見学地の観察記録を10枚程度にまとめる。



◎磯谷

- 実施日：11月6日（土）
実施地：川崎市生田緑地とその周辺
参加学生数：2名（男子1名、女子1名）
テーマ：生田緑地の自然地理と運営方法
内容：川崎市のほか緑地に関係する多様な主体が参画して管理・運営されている生田緑地について、自然地理や防災および歴史地理、運営方法などの視点から調べて理解する。午前中は地形・植生・防災などについての自然地理に関する観察を行ったほか、特徴ある生田緑地の運営方法などについて学んだ。午後は、参加者各自の興味に応じた調査・観察を行い、最後に各自の観察結果の報告と取りまとめを行った。
課題：上記の内容を踏まえつつ、参加者各自の視点を重視したレポートを作成する。



◎加藤

- 実施日：6月5日（土）
実施地：東京都品川区とその周辺
参加学生数：6名（男子6名）
テーマ：交通・流通拠点としての品川とその歴史
内容：テーマについて理解するエクスカージョン（現地見学）を行う。訪問先は以下のようなところ。光学通り／品川歴史館／大井町駅付近／広町工業団地・工場アパート／ソニー大崎工場跡（大崎シンクパーク）／旧東海道／品川神社・富士塚／品川インターシティ／高輪ゲートウェイ駅
課題：エクスカージョンで学んだこと・興味あったことについて、レポートをまとめる。



◎佐々木

実施日：9月17日（金）

実施地：神奈川県藤沢市 江ノ島

参加学生数：14名（男子8名，女子6名）

テーマ：江ノ島にみられる地形の観察

内容：江ノ島の平坦面をつくる3段の海成段丘面の踏査を行い，それらの高度分布を確かめた．最上位の段丘面に載るローム層とそれに介在する火山灰層を観察し，海成段丘面の形成年代を把握した．海岸に沿って形成されている隆起波食棚において簡易測量を行い，関東地震による地盤の隆起量を明らかにした．江ノ島到着時に観察した海面高と解散時のそれとを比較し，潮位の変化を把握した．

課題：調査結果とそれらにもとづく考察をA4版5枚程度のレポートにまとめる．



佐々木コース：隆起波食棚における簡易測量の実施状況

◎桐越

実施日：10月9日（土）

実施地：東京都新宿区 高田馬場駅および新大久保駅周辺地域

参加学生数：9名（男子7名，女子2名）

テーマ：外国人経営者の店舗分布についてGPSを用いて調査し，その特性を分析する

内容：高田馬場駅から新大久保駅にかけての地域についての歴史を概観するとともに，それぞれの駅の周辺においてGPSを用いた調査を実施した．高田馬場駅周辺では，ミャンマー料理店の分布とその特性を調査し，新大久保駅周辺ではコリアタウンの範囲を測定した．これらの調査結果から，エスニックコミュニティの実態についての分析をおこなった．

課題：GPSの計測結果をGoogle Earth上に示すとともに，調査内容にもとづいたレポートをまとめる．



桐越コース：各自GPSをもって，店舗の分布調査に出発

【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して合否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジュメを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください（公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります）。これらは卒論の合否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会（2022年3月中旬・東京学芸大学）で発表してもらう可能性があります（コロナ禍のため、開催予定等不詳）。開催される場合、発表者は2月9日中に決定し、すぐに通知する予定です。また、優秀な卒業は国土舘大学地理学報告に修正の上、掲載してもらう予定です。これは2月9日中に決定し、連絡します。

日 時：2022年 2月7日（月） 10:45～
8日（火），9日（水） 9:30～
場 所：世田谷校舎 10号館2階 10212教室

注意事項（4年生はよく読んでおくこと）：

※ 試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）です。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となります。なお、発表時は予鈴7分、本鈴9分の合図があります。

※ 発表に際しては、必ず以下の要領でレジュメを用意しておくこと。レジュメの文字部分は基本的にワープロによって作成のこと。図表等のタイトル・注は同。図表ははさみと糊で切り貼りしても構わない。

- レジュメは、論文題目、氏名、論文の要旨（目的・方法・結果を書く。字数が多くなりすぎないように、計800字程度を目安にするとよい）、説明に使用する図表によって構成する。
- レジュメの枚数は、A3サイズで2枚横書き（図表を含む）とし、各自40部ずつ用意する（自費でコピーのこと）。図表がカラーでないと判別しにくい場合はカラーコピーするか、口頭試験用に図表を白黒で描き直すこと（発表時の図表の不鮮明さが評価を下げる・減点されることもあるので注意）。
- レジュメは、発表者交代の合間に次の発表者が配るものとする。その際、まず教員に配ること。各日の朝一番目の発表者で、責任を持って依頼できる学友がいる人は、前日の最終発表者のレジュメ配布を学友に頼んでも構わない（ただし問題があれば責任は依頼した人にあるので、注意のこと）。
- レジュメの文章をそのまま読むような発表は控えること。口頭試験の発表用原稿を別に用意することが望ましい。

※ 発表では、パワーポイントも使用できる。使用するパソコンは原則としてあらかじめ用意されたパソコンを使用すること。発表用ファイルは、午前に発表の者は発表当日の朝、午後に発表のある者は昼休みにパソコンのデスクトップにコピーしておくこと。発表時にUSBメモリー等から起動すると、手間取るケースが多い。自分のPCにケーブルを差し替える場合も同様である。それらの時間も発表時間に含めるので、あらかじめ用意のPCにコピーしておく方法で行うこと。

※ 地域調査士の資格取得に向けては審査前事前請求制度があり、3月中に認定証を受け取ることができます。資格取得希望者は、1月末（以降）に日本地理学会資格専門委員会から郵送される書類を熟読し、同封されている申請書に必要な事項をすべて記入のうえ（顔写真も必要）、口頭試験日程期間中に主査へ提出すること。その後、副査が記名・押印し、一括して返却する。この機会をのがすと「地域調査士認定委員会が指名する者の認定」が面倒なことになるので、卒業予定者は必ずこの機会に行うこと。

※ 3年生は卒論作成の参考のため、また来年の口頭試験のためにも、出席して複数のセッションを聞くようにすること。1, 2年生も感染症対策に留意しつつ半日程度以上は出席のこと。2年生にとっては3年以降の専門分野（ゼミ）の選択する上で、もっとも参考になる行事なので、多くの発表を聞くことが自分のためにもなります。来場・発表聴取の際は規定の書類等持参の上、入場前の手洗いなど、感染症対策を徹底のこと。なお換気のために暖房等が十分行き届かないことが予測されるため、防寒対策にも留意しておくこと。

【2021 年度卒業論文公開口頭試験日程】

氏 名	題 目	主査	副査	地調	GIS
2月7日(月) 10:45~12:00 <進行:加藤>					
矢田 翼	1974年~2018年における野川流域の河川改修と浸水域の変遷	佐々木	磯谷		○
張 偉瀟	那珂川流域における河成段丘の対比について	佐々木	長谷川	○	○
濱崎 敢太	始良カルデラ由来の火山砕屑物における土砂崩壊のメカニズム -透水性と液性限界に着目して-	佐々木	長谷川		
島田 莉奈	治水地形分類図を活用した防災-激甚豪雨災害から命を守る	佐々木	長谷川	○	
12:55~15:30 <進行:内田>					
北川 裕也	中国東北地方ホルチン沙地における砂漠化の経年変化の抽出 -LANDSAT データを用いて-	長谷川	磯谷	○	○
菊地 倫太郎	金武湾における赤土堆積状況	長谷川	佐々木		
氏家 龍太郎	火星における衝突クレーターとエジクト地形の関係 -アマゾニア期とヘスペリア期を対象に-	長谷川	佐々木	○	○
岡本 稜太	斜面崩壊対策工事の分布と特徴-千葉県成田市を例に-	長谷川	佐々木	○	
木村 優花	外秩父山地大霧山の地すべり地における微地形ごとの植生分布 とその要因	佐々木	磯谷		
金子 大夢	北海道札幌市における冬季のヒートアイランド現象	佐々木	磯谷		○
前田 貴大	1989年~2019年に横浜市で発生した土砂災害について	佐々木	磯谷		
佐藤 治朗	中部山岳の志賀高原に分布する泥炭質土層の生成開始期	佐々木	長谷川		○
15:45~17:55 <進行:桐越>					
小島 大智	丹沢山地の鍋割山における登山道の荒廃について -2方面の登山道の比較-	長谷川	佐々木		
池田 優哉	相模川河口付近の漂着マイクロプラスチック分布特性	長谷川	磯谷		
森田 彩花	房総半島南端野島崎における波食棚の微地形について	長谷川	磯谷	○	○
齋藤 圭一郎	埼玉県における潜在的な水害脆弱地域の抽出	長谷川	磯谷		○
藤江 亜由美	長野県諏訪盆地における冬季の気温分布	佐々木	磯谷		○
渡邊 杏	岐阜県多治見市における夏季の気温分布と高温域の出現メカニ ズムの検討	佐々木	長谷川	○	
中井 夢月	富士火山南麓の大淵扇状地における層序および発達過程	佐々木	磯谷		○

2月8日(火)

9:30~12:00 <進行:磯谷>

本間 菜月	少子高齢化が進む地域での積雪による暮らしの影響 —新潟市南区の交通, 除雪を事例に—	桐越	内田	○
安原 雅也	地域の出来事が住民集団の地域の認識に及ぼす影響について —群馬県みなかみ町を事例に—	桐越	内田	○
高橋 菜帆	西伊豆町の地域通貨「サンセットコイン」における地域活性化の 現状とこれから	桐越	加藤	○
折笠 浩明	日本に在住する外国人と多文化共生の現状 —愛川町を事例に—	加藤	桐越	
長谷川 文哉	千葉県稲毛区におけるコインパーキングの立地と料金設定	加藤	内田	○ ○
足立 奏典	品川宿・川崎宿・神奈川宿・藤沢宿における歴史的町並みの形成 過程と地域的特性について	加藤	内田	
新莊 直利	茨城県神栖市産ピーマンにおける地域ブランディング —諸団体による取り組みと認知度調査をとおして—	加藤	桐越	○
樋口 優	東京都における交通事故の発生環境	加藤	桐越	

12:55~15:30 <進行:佐々木>

丸谷 瑛良	刀剣の製作環境と現代の利用方法の関係性	加藤	内田	
山口 拓人	赤羽スズラン通り商店街の店舗構成の変化と後継者問題	加藤	桐越	○
関 航洋	大都市周辺の鉄道廃止が沿線地域に及ぼした影響 —西鉄宮地岳線を事例に—	加藤	内田	
曾根 啓史	鉄道路線延伸計画の導入から廃止までの経緯 —千葉モノレールを事例に—	加藤	内田	
榎田 裕也	千葉県安房地域の棚田を中心とする中山間農業地域における中 大型哺乳類の獣害と発生要因	磯谷	桐越	
樋口 溪太	大磯丘陵西部におけるイノシシを中心とした分布の現状	磯谷	内田	
小林 泰梧	多摩川中流域の魚類群集に対する河畔植生の効果	磯谷	佐々木	
帯金 緋茉莉	東京都あきる野市における中・大型哺乳類の分布と獣害 —とくにアライグマ・ハクビシンに着目して—	磯谷	佐々木	○

15:45~17:55 <進行:磯谷>

工藤 壮道	中山間地域におけるアウトドアスポーツツーリズムの可能性 —群馬県みなかみ町を事例に—	桐越	内田	○
村上 正樹	横浜 DeNA ベイスターズと新型コロナウイルス拡大後における 地域経済の変化について	桐越	内田	○
早坂 奨平	鉄道施設とまちづくりの関係性 —新宿駅と新宿駅西口エリアを事例に—	桐越	加藤	○
市川 正人	山梨県笛吹市における観光農園の展開と経営特性	加藤	内田	
櫻井 侑太	練馬区における自転車販売店の立地展開	加藤	内田	○
横山 大樹	首都圏の郊外地域における鉄道利用客数の現状と要因	加藤	内田	○
吉清水 秀護	東京都におけるインターネットカフェの立地展開	加藤	桐越	○ ○

2月9日(水)

9:30~12:00 <進行:加藤>

森本 優也	琵琶湖東岸犬上川河口部の地形変化 -三角州掘削工事以後に着目して-	長谷川 磯谷	○ ○
仲田 裕哉	石川県羽咋市長手島におけるトンボロの形成について	長谷川 磯谷	○ ○
高橋 秀平	沖縄県南東部大戸海岸におけるサンゴ群落の被覆度の違い -コドラートを用いた地点毎の違いに着目して-	長谷川 磯谷	
曾根 聖	米子市皆生工区における離岸堤設置と海浜地形変化	長谷川 佐々木	○
井上 翔	GISを用いた避難所の安全性・避難時間の研究 -横須賀市における津波災害を想定して-	長谷川 磯谷	○ ○
柴田 相良	河口砂洲の変化に与えるダムの規模の影響 -名取川と鳴瀬川を例に-	長谷川 佐々木	○
阿部 敬胤	COVID-19に対する観光客の意識について	内田 磯谷	○

12:55~15:30 <進行:佐々木>

大内 隆行	キャンプブームにおけるアニメ作品『ゆるキャン△』が観光客に与える影響について -静岡県西伊豆町と山梨県身延町を事例に-	内田 桐越	○
河南 栞	コンテンツによる観光地イメージの形成要因 -NHK 大河ドラマを事例に-	内田 桐越	○
鈴木 なるみ	千葉県における女子高校生の余暇活動の特性	内田 桐越	
黒田 貴紀	「インスタ映え」する写真にみる観光地の特性 -奈良県の観光地を事例に-	内田 桐越	
横田 奏明	鉄道貨物輸送の品目別地域特性	加藤 桐越	
猪狩 郁之	横浜市栄区における生活関連施設までのアクセシビリティの現状	加藤 内田	○ ○
中村 文彦	横浜市南区における人口変化	加藤 桐越	○
大澤 直人	コミュニティバスの現状と課題 -神奈川県茅ヶ崎市の「えぼし号」を事例として-	加藤 桐越	○ ○

注. 地調: 地域調査士取得希望者, GIS: GIS 学術士取得希望者

【地理学教室が発信する各種情報のQRコード】

地理学教室ではニューズレターの他に、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムでも情報を発信しています。ぜひご覧ください。



ホームページのQRコード



フェイスブックのQRコード



インスタのQRコード